



浦和大里小学校だより

7月号 令和7年6月30日発行

教育目標
夢と希望をもち、
人間性豊かで
心身ともに
たくましい子の育成



一生懸命やれば

楽しくなる！

校長 中野 緑

日差しがみるみる力をつけ、強く存在を主張してきます。日傘をさし、首を冷やしながら登校する児童も増えてきました。

猛暑の中、先日は音楽会にたくさんの方にお越しいただき、ありがとうございました。子どもたちが一生懸命に取り組む姿はなぜこんなに胸を打つのでしょうか。

練習風景をみるとその理由が分かります。各学年とも、「今ある力のちょっぴり上」に挑戦させますので、子どもにとっては、なかなか手ごわい課題です。ある学年では、曲がつくられた背景や、歌詞にこめられた意味を考え、作者の思いをどうやったら歌で表現できるのか話し合っています。話し合ったことを、いざ歌で表現する段階で、うまくいかない自分を見せたくない子どもたちと、頑張らせたい職員たちとのせめぎ合いが繰り広げられるのです。

「音がとりにくいです」「リズムが難しくて・・・」と子どもたちが訴えてきますが、職員たちは「大丈夫、もう一回やろう」「もっと出る！みんなならできる！！」と、粘り強く何度も挑戦させ、少しずつ形になっていくのでした。

そのような中、休み時間や放課後、子どもたちが数人で集まって練習する姿がありました。音がとれない自信のなさを、友達との練習で補い、自信をつけていく日々。その姿を見ていただけに、当日、大きな口を開けて歌い、誇らしげにしている子どもたちを見たときの喜びはひとしおでした。友達の思いを感じて、それを力にしてやり遂げ喜び合う子どもの姿に、学校のよさはこういうところだよなあ、としみじみ思うのでした。

うまくいかないときは苦しいものです。ところが一方で、それを乗り越えてうまくできたときの嬉しさも私たち大人は知っています。この嬉しさを子どもたちにもぜひ知ってほしいと思っています。この経験が、新しいことに挑戦する勇気を生み、頑張れた自分を誇りに思えるようになると思うからです。

「一生懸命やれば楽しくなる」

「一生懸命はかっこいい」

何度も失敗できる場所が学校です。出来栄の良し悪しだけではない、子どもの心の成長を感じ取り、子どもに関わる皆様と一緒に喜び合いたいと願っています。